

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	柏崎市早期療育事業元気館			
○保護者評価実施期間	令和6（2024）年 10月 1日		～	令和6（2024）年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	108人	(回答者数)	89人
○従業者評価実施期間	令和6（2024）年 10月 1日		～	令和6（2024）年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14人	(回答者数)	14人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7（2025）年 1月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	乳幼児健診（保健師）、新潟病院（医療）、就園先、就学先との連携が取りやすい環境である。	保護者の同意を得ながら、就学までの連携を行うことで、途切れない支援体制を構築している。	引き続き関係機関との連携を図り、途切れない支援体制を構築していく。
2	職員、利用児、保護者に対して新潟大学、上越教育大学教授からのスーパーバイズが受けられる。	・保護者座談会や講話の機会を設け、保護者からの心配事を聞くことで、育児不安の軽減や適切な就学支援等保護者支援を行っている。 ・職員の関わり方、お子さんの特性などについてアドバイスをもらい、支援に活かしている。	今後も定期的に教室に参加いただき、職員、利用児、保護者に対するスーパーバイズを継続していくことで、職員の質の向上と適切な支援を行うとともに、保護者支援も行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	受け入れ人数が限られてしまう教室がある。	会場の確保、職員の人数で受け入れ人数が限られてしまう。	外部の児童発達支援事業所の利用や就園先へのアドバイスなど教室の受け入れ以外でも必要な支援が受けられるよう取り組む。
2			